

島のひろば

第 563 号
「島のひろば」編集委員会
電話 04992-2-8256

Eメール:jcposhima@yahoo.co.jp

www3.plala.or.jp/jcposhima/

(検索サイトからは「日本共産党 伊豆大島」)

くらしの相談は共産党町議団へ

山田2-3670 橋本2-3614 小池2-9318

日本共産党の見解を紹介します

社会保障は悪くなるばかり

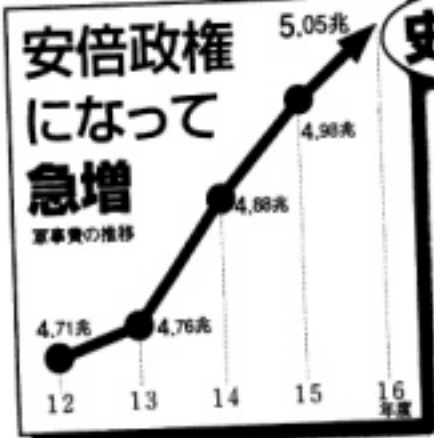
安倍内閣は、社会保障を削り、さらに削減を検討をしています。

- 1、年金は給付を抑制（消費税10%になってもすえ置き）
- 2、介護保険、保険料上げ、サービス削減（要支援1, 2の主なサービスは地域支援事業に。さらに生活援助を「原則自己負担」とすることを検討。
- 3、入院給食費260円→360円に。さらに460円をめざす。

シリーズ

あまりにひどい安倍政権の アベコベ政治 《税金の使い方》

軍事費が5兆円超え



史上最大 安倍政権の予算案

安倍内閣は、社会保障を削る一方、軍事費は過去最大となり、当初予算として5兆円の大台を初めて突破。「くらし壊して軍事費太る」アベコベ軍拡政治に「ノー」の声を！

日本、すでに世界8位の軍事費大国

- 1 米国
- 2 中国
- 3 ロシア
- 4 位サウジアラビア
- 5 位フランス
- 6 位イギリス
- 7 位ドイツ
- 8 位日本 (2013年度)

米国製高額兵器を導入 戦争法強行で軍拡加速

(記事は《東京民報》2016年1月号外より)

- 1、ステルス戦闘機F35(1084億円)
- 2、オスプレイ(447億円)
- 3、早期警戒機(260億円)
- 4、対空型無人機(146億円)
- 4、辺野古新基地に昨年の2、4倍の595億円。

これらは米国製の高額兵器。「専守防衛」の域を超え、安倍政権の「米軍と共に海外で戦争する国」づくりの暴走が加速しています。

共産党演説会



支援のために福島に通い続け、弁護士になつてからは、事故被害弁護団に加わり訴訟勝利にがんばつたそうです。若いけれども頼もしい方ですね。期待しています。

●震災被災地での活動や労働問題などを地道にやってきたことで、人々の苦勞や悲しみを

若くてさわやか青年
●清潔感があり、さわやかでユーモアもあり、話もうまい。さすが弁護士だ。若い方がいいですね。島のためにもぜひがんばってほしい。

山添さんの話を聞いて

福島原発被害者・避難者支援に弁護士として奔走

●山添さんは、弁護士になる直前原発事故が起き、被害者や避難者の

参院東京選挙区に挑戦する山添拓さんを迎え

日本共産党演説会に110人

北の山公民館

日本共産党大島町委員会と日本共産党大島後援会が、参院東京選挙区に挑戦する青年弁護士山添拓さんを迎えて主催した演説会が、2月27日午後7時から北の山公民館で開かれ、会場いっぱい110人が来場しました。

島内8か所で街頭演説

山添さんは演説会の翌日、島内を精力的に回り、8か所でマイクを握り、「野党共闘で政治を変え、憲法生かし、くらしと平和を守る希望ある日本をいっしょにつくりましょう」と訴えました。



自分のこととして受け止め、頑張っている姿はとても好感が持てました。島のことも良く調べ、お話の中で、島の物価の高いつつ、土砂災害の被災者支援として配分した義援金配分は、住家以外も対象にしたり、額も多く、全国モデルになると評価されていますが、調べるのは弁護士の仕事、さすがですね。島の代弁者として活躍が期待されます。

3月議会一般質問

(傍聴は自由にできます。議場は庁舎3階です。)

3月8日(火)

●坂上議員(9時30分～10時10分)

- 1、大島町地域防災計画について。
- 2、サイクリングと観光振興

●川寄議員(10時10分～11時10分)

- 1、下水道整備。
- 2、遊泳場整備
- 3、遊休土地利用、外。

●佐藤議員(11時20分～12時10分)

- 1、H25.10.16土砂災害行方不明者捜索活動について。
- 2、「災害記録誌」作成について、外。

◆橋本議員(13時30分～14時)

- 1、国民健康保険料値上げに際して、子育て世帯の負担が増える均等割を据え置くこと。
- 2、介護保険の要支援が来年度から町の「総合支援事業」に移行されるが、利用者への影響は。
- 3、被災者が町営住宅への入居に際し、エアコン等の整備を。

◆小池議員(14時～14時40分)

- 1、空き家対策の進捗状況について。
 - ①空き家戸数の調査の進捗状況は。
 - ②「特定空き家」への認定に向けた取り組み状況と今後の計画は。
 - ③今後の空き家発生抑制の試作構想は。
 - ④定住促進施策についての空き家活用の具体策は。
 - ⑤「大島町空き家対策計画」の策定予定は。
- 2、サイクリスト誘致に向けた取り組みについて。

◆山田議員(14時55分～15時25分)

- 1、子ども達の放課後、長期休業中の健やかな生活のために。
 - ①学童クラブの保護者負担の軽減、学童クラブ、放課後教室の運営費の増額、施設、備品の充実を。
 - ②地域の小公園(吉谷公園等)、愛らんどファームの子ども広場、交流広場、いこいの広場の年間を通じた草刈り、整備の実施、遊具の点検により、公園を安全で美しく保つこと。

大島文学・紀行散策

学者・評論家編

木村毅き(評論家) 「三原山」

四

437

時得孝良

二人は、五合目の歌の茶屋で小休止し、アンコの大島節を聞いたたり、デコブラは絵葉書や三枝子昌子の遺書の写真を買ひ火口に向かう。

前号で取り上げたように、松本貴代子の投身自殺を案内した富田昌子は、実は、その前にやはり同級生の真許三枝子の自殺にも同行している。このことが当時のマスコミで、「友人の噴火口投身を、奇怪！二度も道案内」と大々的に報じられ、全国的に話題となった。

注目の富田昌子は、「事件」の二ヶ月後に埼玉県の実家で急死(病死)している。

なお、三枝子、貴代子の遺書は全文公開されているが、紙幅の都合で素通りし、先を急ぎ本文の紹介に入

ることにする。

「噴火口をのぞいた時は、只、デコブラ君が非常に細かに観察したと云う以外、別に書くことはない。帰りに私達は監視人に取っ捕ま

た。「あんた方は向こうの小高い丘迄行つてみましたか。」

その口吻で何となくあそこ迄行かなければ、火口の奥底は見えませんよと云われそうな気がしたので、『ええ』と答えた。又、実際デコブラ君も私も、強い硫黄の香を襟巻で遮りつつ、そこ迄行つたことは本当なのである。だが、これがいけな

かった。「あそこ迄行っちゃいけないんです。危険ですからね。針金の柵がしてあつたでしょう。」

「それは済みませんでした。」

私は一も二もなくあやまつた。「その針金の柵が倒れてしまつて、おまけに、それを超えて向こうに行つてる人があつたから、つい僕等もそれに誘われたんです。どうもすみません。」

(以下次号)